

# 医療DX推進に向けた取り組みが加速 従来の保険証での受診は割高に

医療DXの推進により、医療サービスの効率化・質の向上が図られています。  
そのため、現在、次のような取り組みが進められています。

## 1 原則すべての医療機関でオンライン資格確認導入

政府はオンライン資格確認を医療DXの基盤と位置づけています。オンライン資格確認では、医療機関の受付で保険証利用登録をしたマイナンバーカードをカードリーダーにかざすことで、患者が加入する医療保険を確認します。2023年4月からは原則すべての医療機関等でオンライン資格確認等システムの導入が義務化<sup>※1</sup>されました。

義務化対象施設のカードリーダー申込率は、99.0%

※1 システム導入の契約後、整備が完了していない施設を対象に、2023年9月末までの導入完了を目指す経過措置が設けられています。

(2023年3月26日時点)に上り、今後はほとんどの医療機関でマイナ保険証が使えるようになり、受付時間の削減等が期待されています。

また、患者の医療情報がオンライン資格確認等システム上に集約されることで、特定健診や薬剤の情報などが本人同意の上で、医療機関等で確認できるようになり、検査や投薬の重複防止につながるなど、医療の質や効率が高まることが期待されています。

## 2 従来の保険証で受診すると自己負担6円引き上げ

これまでマイナ保険証を使用した場合の窓口負担は割安に設定されていましたが、2023年4月～12月の期間に従来の保険証を使って医療機関を受診した場合、初診・再診料ともに20円(3割負担で6円)引き上げられます。

マイナ保険証による受診時の初診料は据え置かれ、再診時の負担も生じません。差額をさらに広げることで、マイナ保険証への切り替え促進が図られます。

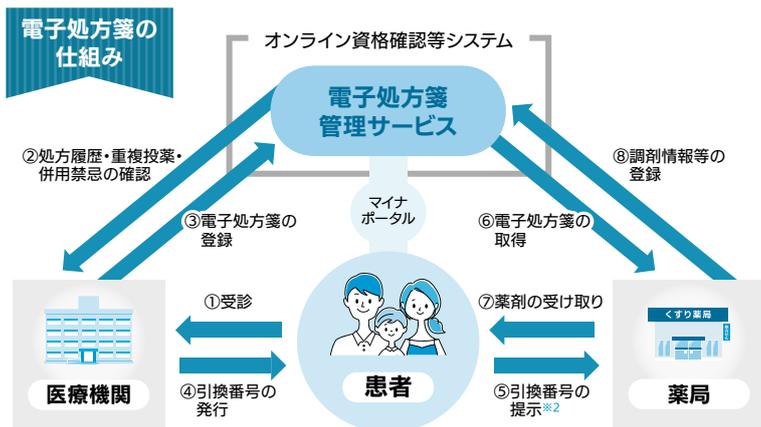
### 受診時の追加負担額

		従来	2023年4月～12月末
マイナ保険証	初診		6円
	再診		なし
従来の保険証	初診	12円	18円 <b>+6円</b>
	再診	なし	6円

※自己負担3割の場合の窓口負担額です。

※マイナ保険証を扱っていない医療機関では、初診・再診ともに引き上げはありません。

## 3 電子処方箋の運用が始まっています



※2 薬局でマイナ保険証を使って受付した場合、カードリーダー画面で電子処方箋を選択できるため、引換番号が不要になります。

2023年1月から電子処方箋がスタートしました。電子処方箋は、病院や診療所から紙で発行されている処方箋をオンライン資格確認等システムを用いてオンラインで運用する仕組みのことです。

本人同意の上で、全国の医療機関等で過去3年間の処方履歴を閲覧できるようになり、重複投薬や残薬等の問題を防ぎやすくなるほか、医療費の節減につながることを期待されています。

## スマホにマイナンバーカード機能が搭載できるようになりました!

2023年5月11日から、マイナンバーカード機能をスマホに搭載<sup>※3</sup>できるようになりました。さまざまな行政手続き・サービスがスマホで完結できるようになるなど、マイナンバーを使ったオンラインサービスの充実が進みます。

健康保険証利用については、2024年4月からスマホ搭載が可能となる予定です。

なお、マイナンバーカードを保険証として利用するには事前の申込みが必要です。

※3 Android 端末のみ。iOS 端末は調整中。

交付申請  
について



マイナンバーカード  
総合サイト

保険証利用の  
申込みについて



マイナポータル